

「呼吸と循環」第64巻 総目次

2016年（第1号～第12号）

数字は通巻頁数，（ ）は号数

特 集

■ わが国における脳・心血管疾患予防のための疫学研究

序文……………岡村 智教……7(1)

栄養疫学研究としてのNIPPON DATA

……………奥田奈賀子・三浦 克之……8(1)

脳卒中予防を目的とした地域比較研究

—CIRCS研究—

……………村木 功・磯 博康……15(1)

久山町研究……………清原 裕……21(1)

吹田研究……………渡邊 至・宮本 恵宏……29(1)

岩手県北コホート

……………大澤 正樹・岡山 明……37(1)

大迫コホート……………浅山 敬・大久保孝義……49(1)

EPOCH-JAPAN……………村上 義孝……57(1)

超高齢者・百寿者を対象としたコホート研

究……………平田 匠・新井 康通……64(1)

新しいコホート研究の立ち上げと今後の展

望：神戸研究と鶴岡メタボロームコ

ホート研究……………西田 陽子・原田 成

武林 亨・岡村 智教……71(1)

■ 呼吸器疾患における慢性炎症を考える

感染免疫と炎症……………石井 誠……119(2)

アレルギー性気道炎症……………中島 裕史……125(2)

難治性気道疾患のフェノタイプ/エンドタ

イプ……………檜澤 伸之……132(2)

COPDにおける慢性炎症

……………玄山 宗到・平田 陽彦・武田 吉人……137(2)

薬剤性肺障害，特発性肺線維症急性増悪の

遺伝的素因に関する検索……………萩原 弘一……144(2)

慢性炎症とfibrocyte

……………後東 久嗣・青野 純典

三橋 惇志・西岡 安彦……149(2)

特発性肺線維症とサイトカイン

……………岡元 昌樹・星野 友昭……157(2)

特発性肺線維症とGWAS解析

……………石井 健男……163(2)

特発性肺線維症に対する薬物治療

……………小田 桂士・迎 寛……169(2)

■ 症状別・疾患別にみた注意を要する心電図所見

序文……………小菅 雅美……213(3)

胸痛：ST上昇型急性心筋梗塞

……………松澤 泰志・木村 一雄……215(3)

非ST上昇型急性冠症候群

……………中島 啓裕・安田 聡……222(3)

胸痛：急性肺塞栓症を見逃さないために

……………長谷川浩一……229(3)

胸痛：劇症型心筋炎……………青山 直善……235(3)

胸痛：たこつば症候群……………明石 嘉浩……243(3)

動悸：頻脈性不整脈……………永瀬 聡……251(3)

失神，めまい：徐脈性不整脈……………村川 裕二……261(3)

電解質異常……………大坪 豊和・高橋 尚彦……267(3)

■ 呼吸器病学 黎明期から現在

COPDの歴史を紐解く—教訓と展望—

……………福地義之助……326(4)

気管支喘息……………大田 健……333(4)

肺癌内科治療の黎明期から現在：First

peakから眺望できるものは何か？

……………貫和 敏博……340(4)

びまん性汎細気管支炎およびマクロライド

療法……………工藤 翔二……349(4)

間質性肺疾患……………杉山幸比古……358(4)

肺炎診療の黎明期から現在—肺炎診療ガイ

ドラインを中心に—

……………今村 圭文・河野 茂……365(4)

■ Acute Aortic Syndrome—最新の話題と今後の展望—

Acute Aortic Syndromeの発症機序—病理

学から—……………池田 善彦……421(5)

腹部大動脈瘤の発症機序—炎症から—

……………今中 恭子……429(5)

急性大動脈解離の診断と治療方針の決定

……………吉野 秀朗……435(5)

スタンフォードA型急性大動脈解離に対

する外科治療の進歩

- 秦 光賢・折目由紀彦・秋山 謙次……445(5)
 腹部大動脈瘤の診断と治療方針決定
 ……渡辺 弘之……451(5)
 破裂性腹部大動脈瘤に対する外科治療
 ……河西 玲央・山本 晋……458(5)
 Acute Aortic Syndrome に対する血管内治
 療……島村 和男……463(5)
 Acute Aortic Syndrome における先制診断
 の可能性
 小松 誠・高橋 覚・大原 知樹
 武輪 光彦・平山 篤志・由谷 親夫
 児玉 和久……471(5)

■ 肺高血圧症の病態と治療 2016 Up to Date

- 肺高血圧症の画像診断
 ……牧 尚孝・八尾 厚史……536(6)
 肺高血圧症における右心形態・機能および
 代謝異常
 中谷 資隆・大平 洋・辻野 一三……543(6)
 レジストリー比較からみた日本における肺
 高血圧症の治療……田村 雄一……548(6)
 特発性肺動脈性肺高血圧症に対する治療戦
 略……江本 憲昭……554(6)
 膠原病に伴う肺高血圧症に対する治療戦略
 ……山崎 宜興・浅利 佑紗……560(6)
 先天性心疾患に伴う肺高血圧症に対する治
 療戦略……小垣 滋豊……568(6)
 呼吸器疾患に伴う肺高血圧症に対する治療
 戦略……花岡 正幸……576(6)
 肺高血圧症の基礎研究から臨床研究への橋
 渡し……中村 一文・赤木 達……582(6)
 肺高血圧症に対する肺選択的薬剤効果を目
 指して……坂尾誠一郎……588(6)

■ 二次性心筋症の見分け方と治療

- 序文……小室 一成……647(7)
 高血圧性心筋症, および頻脈誘発性心筋症
 ……清水 悠・赤澤 宏……649(7)
 炎症性心筋症……菅野 康夫・安斉 俊久……655(7)
 神経筋疾患, ミトコンドリア病に伴う心筋
 症の鑑別と治療
 ……木岡 秀隆・坂田 泰史……663(7)
 内分泌性心筋症, 周産期心筋症
 ……今村 輝彦・絹川弘一郎……671(7)
 蓄積性心筋症……高橋 政夫……677(7)
 サルコイドーシスや膠原病に伴う心筋症を
 どう診断するか

- 伊藤 隆英・寺崎 文生・石坂 信和……688(7)
 中毒性心筋症……向井 幹夫……697(7)
 日本におけるシャーガス病の実態
 ……三浦左千夫……705(7)

■ COPD 合併肺癌: 病因論から治療まで

- COPD における肺癌合併の分子機構
 ……埴淵 昌毅・西岡 安彦……743(8)
 疫学研究からみた COPD 合併肺癌の臨床
 ……坂東 政司……749(8)
 コンピュータ支援 CT 画像診断システムの
 開発……仁木 登……755(8)
 肺癌診療専門内科医からみた COPD
 ……小笹 裕晃・佐藤 晋……761(8)
 定位放射線治療……井上 哲也……767(8)
 健診における肺癌および COPD スクリー
 ニング……関根 康雄……771(8)

■ Onco-Cardiology—がんと循環器における新しい
関係—

- 序文……向井 幹夫……839(9)
 腫瘍循環器(Onco-Cardiology)とは
 ……南 学……841(9)
 がん化学療法における心筋障害の病態と対
 策—アントラサイクリン心筋症など
 ……青野 真弓・實川 東洋
 福田 恵子・清野 精彦……849(9)
 高血圧, 蛋白尿, 虚血性心疾患: 血管新生
 阻害薬による心毒性……塩山 渉……859(9)
 がん治療における心毒性—血栓塞栓症: が
 んと血栓の関係について—がんによる
 血栓形成のメカニズムならびに化学療
 法に伴う血栓症……窓岩 清治……867(9)
 がん診療における不整脈—心房細動, QT
 時間延長を中心に……庄司 正昭……875(9)
 がんに対する放射線療法に起因する冠動脈
 疾患……黒田 忠……881(9)
 Oncologic emergency としての心外膜炎疾
 患(心タンポナーデ)……大倉 裕二……893(9)
 原発性心臓腫瘍と転移性心臓腫瘍—その頻
 度や検査方法, ならびに合併症につい
 て……北原 康行……899(9)
 心不全の分子メカニズムと抗がん剤による
 心毒性—新たなトランスレーショナル
 リサーチに向けた腫瘍循環器からの
 フィードバック……岡 亨……905(9)
 ■ 呼吸器疾患: 症例から病態生理学/分子病態学へ
 間質性肺炎……須田 隆文……947(10)

気管支喘息……………永田 真…955(10)
COPD

平田 一人・浅井 一久・川口 知哉…961(10)
インフルエンザウイルス感染後の二次性肺
炎

木村聡一郎・三村 一行・舘田 一博…969(10)
症例からみる非小細胞肺癌の precision

medicine ……津端由佳里・磯部 威…976(10)

肺高血圧症……………花岡 正幸…985(10)

リンパ脈管筋腫症
……………安藤 克利・瀬山 邦明…991(10)

肺胞蛋白症……………山口 悦郎…1000(10)

■ 家族性高コレステロール血症(FH)診療のパラダイムシフト—PCSK9のインパクト—

序文……………寺本 民生…1049(11)

PCSK9 蛋白の発見とその生理的意義
……………野原 淳…1051(11)

PCSK9 機能と高コレステロール血症
……………塚本 和久…1057(11)

PCSK9 阻害薬の種類とその治療効果
……………荒井 秀典…1063(11)

FH の病態と疫学 ……石橋 俊…1067(11)

FH の診断基準 ……小林 一貴・横手幸太郎…1073(11)

FH ヘテロの薬物療法(PCSK9 阻害薬は除
く)……………山下 静也…1079(11)

FH ホモ接合体の治療

川尻 剛照・多田 隼人・山岸 正和…1087(11)

FH 診療の展望と課題

……………小倉 正恒・斯波真理子…1095(11)

■ 呼吸不全患者を取り巻く課題

人類の課題「呼吸不全」—科学と人間から
の挑戦……………蝶名林直彦…1140(12)

在宅医療に向かう日本における肺炎予防—

肺炎球菌性肺炎を中心に…舘田 一博…1152(12)

急性呼吸不全に対する NPPV…永田 一真…1159(12)

急性期の呼吸管理に対する高流量鼻カニユ

ラ酸素療法…横山 俊樹・速井 俊策…1167(12)

ASV による呼吸管理 ……葛西 隆敏…1173(12)

呼吸不全患者におけるパルスオキシメータ

の活用と留意点……………一和多俊男…1180(12)

呼吸リハビリテーションの普及を目指して

……………黒澤 一…1189(12)

吸気筋トレーニングの現状と展望—科学的

エビデンスを中心に……………塩谷 隆信…1193(12)

呼吸器機能に関する障害者認定基準の改定

と今後の課題

……………仲村 秀俊・金澤 實…1202(12)

巻頭言

成人となった先天性心疾患の診療とその将

来……………丹羽公一郎…5(1)

抗酸菌が私にくれる“不思議”と“なぜ?”

……………長谷川直樹…117(2)

呼吸器病学の権威, Nadel 教授

……………金子 猛…325(4)

■ Dr. 長坂の身体所見でアプローチする呼吸器診療 ■

呼吸器疾患の診断—初めはバイタルサイン

から……………長坂 行雄…372(4)

咳嗽の診療……………長坂 行雄…479(5)

息切れの診察……………長坂 行雄…593(6)

痰と血痰……………長坂 行雄…712(7)

胸痛の診察……………長坂 行雄…777(8)

喉の違和感と痛み……………長坂 行雄…1102(11)

肺の聴診1—肺音とは—(呼吸音と連続性

雑音)……………長坂 行雄…1207(12)

■ 症例で学ぶ非結核性抗酸菌症 ■

人間ドックで異常を指摘された中葉舌区陰

影……………南宮 湖・倉島 篤行

長谷川直樹・森本 耕三…79(1)

肺 MAC 症の治療について①

朝倉 崇徳・長谷川直樹・小川 賢二

中川 拓・高崎 仁・森野英里子…173(2)

肺 MAC 症の治療について②

朝倉 崇徳・長谷川直樹・小川 賢二

中川 拓・高崎 仁・森野英里子…276(3)

肺 MAC 症治療薬による副作用出現時の対

応(1)肝機能障害・薬疹

……………鈴木 翔二・長谷川直樹

倉島 篤行・森本 耕三…377(4)

肺 MAC 症治療薬による副作用出現時の対

応(2)視神経炎・その他

……………鈴木 翔二・長谷川 直樹

倉島 篤行・森本 耕三…486(5)

難治性肺 MAC 症の治療戦略—ニューキノ

ロンおよびアミノグリコシド系抗菌薬

の役割—……………八木 一馬・長谷川直樹

倉島 篤行・森本 耕三…599(6)

肺 *M. kansasii* 症の治療戦略

鈴木 翔二・長谷川直樹・森本 耕三
中川 拓・森野英里子……………912(9)

肺 MAC 症と緑膿菌の混合感染について

朝倉 崇徳・森本 耕三・森野英里子
中川 拓・長谷川直樹……………1009(10)

肺からも血液からも肝臓からも骨髄からも
MAC が認められた 1 例—抗 IFN γ 中
和自己抗体陽性の播種性 NTM 症

……………南宮 湖・坂上 拓郎
長谷川直樹・森本 耕三……………1214(12)

総 説

特発性肺線維症における nintedanib

猪俣 稔・西岡 安彦・吾妻安良太……………83(1)
メカノメディスン……………成瀬 恵治……………177(2)

PD-1/PD-L1 シグナルを標的とした免疫
療法……………岩井 佳子……………282(3)ステント留置後の抗血栓療法(抗血小板療
法・抗凝固療法)……………掃本 誠治……………288(3)血管内イメージングの有用性と進歩
—gray scale IVUS, OCT, NIRS-
IVUS について—

……………亀山 剛義・猪野 靖
久保 隆史・赤阪 隆史……………382(4)

肉芽腫性肺炎患の免疫機構—抗酸菌性肉芽

腫を中心に……………伊藤 利洋……………489(5)

肺高血圧症の最新の薬物療法……………佐藤 徹……………497(5)

NPPV(非侵襲的陽圧換気療法)ガイドライ

ン改訂第2版の概要……………陳 和夫……………603(6)

超急性性脳梗塞に対する血管内治療

作田 健一・井口 保之・村山 雄一……………609(6)

学校心臓検診を臨床に生かす

……………小澤 綾佳・市田 路子……………718(7)

ヒト iPS 細胞から気道上皮細胞への分化促

進……………小西 聡史・後藤 慎平……………785(8)

冠動脈硬化と心臓周脂肪……………佐田 政隆……………791(8)

超高齢化時代における市中発症肺炎の疫学

と課題—APSG-J 研究から学んだこと

……………森本浩之輔・鈴木 基……………917(9)

DPP-4 阻害薬は心血管イベントを抑制す

るのか—大規模臨床研究の結果から—

……………田中 敦史・野出 孝一……………1015(10)

薬剤性肺障害……………花岡 正幸……………1108(11)

Bedside Teaching

SGLT2 阻害の意義と積極的適応—病態生
理と節約型遺伝子仮説から考える—

……………木村玄次郎……………89(1)

肺静脈閉塞症(PVOD)/肺毛細血管腫症
(PCH)……………小川 愛子……………186(2)

若手呼吸器科医のための気管支鏡検査の基

本手技……………高橋 典明……………294(3)

血管性認知症と混合型認知症

……………馬原 孝彦・羽生 春夫……………301(3)

肺炎診療における胸部画像診断—臨床所
見, 画像, 起因微生物, 病理像, 臨床
経過を意識した肺炎診療—

……………原永 修作・藤田 次郎……………391(4)

心肺運動負荷試験(CPEX)結果解釈に必要

な運動生理……………一和多俊男……………503(5)

HIV に関連する循環器疾患……………廣井 透雄……………509(5)

急性重症呼吸不全に対する ECMO の役割

朱 祐珍・瀬尾龍太郎・富井 啓介……………617(6)

食後高脂血症……………石井 秀人・吉田 雅幸……………623(6)

セラキシシン……………筒井 裕之……………725(7)

肺癌評価における PET の有用性と課題

……………中島 崇裕・吉野 一郎……………799(8)

心臓手術における経食道心エコー

……………山田 達也……………807(8)

喘息マネジメントにおける心身医学的アプ
ローチ

丸岡秀一郎・江花 昭一・釋 文雄

村上 正人・橋本 修……………922(9)

心臓突然死予防における着型型自動除細動

器治療……………松本 万夫……………1022(10)

高齢者の肺炎をどう考え, どう対応するか

—これからの診療—……………朝野 和典……………1115(11)

ESUS (embolic strokes of undetermined
source)……………棚橋 紀夫……………1122(11)

Current Opinion

肺がんの分子標的薬耐性の克服治療の最新
情報……………矢野 聖二……………98(1)

肺癌薬物療法の進歩と支持療法

……………長井 良昭・小山 信之……………193(2)

気道クリアランス障害

……………折茂 圭介・玉置 淳……………308(3)

肺高血圧症の最新の治療……………大郷 剛……………398(4)	
カルバペネム耐性菌……………朝野 和典……………518(5)	
肺癌の腫瘍随伴症候群 ……………岡地祥太郎・長谷川好規……………631(6)	
多剤耐性結核・超多剤耐性結核の治療 ……………佐々木結花……………731(7)	
中東呼吸器症候群(MERS)……………川名 明彦……………815(8)	
肺癌の維持療法……………山口 央・小林 国彦……………1027(10)	
喘息における抗体治療の現状と展望—メボ リズムマブを中心に……………長瀬 洋之……………1218(12)	
高齢者肺癌の治療 ……………太田 洋充・小山信一郎……………1226(12)	
心臓突然死と遺伝子診断 ……………村田 広茂・清水 渉……………1233(12)	

症 例

急性冠症候群に対する緊急経皮的冠動脈形成術後に確定診断され緊急心臓大血管手術を施行した2症例 ……………齋藤 博之・久米 悠太 古田 晃久・飯島 正樹……………103(1)	
急性下肢静脈血栓症に対してエドキサバン トシル酸塩水和物を用いて急性期外来 単剤内服療法を施行した4例 岡島 年也・植田 充典・宮島 透……………199(2)	
大建中湯エキスによる薬剤性肺障害が疑わ れた1例 鈴木慎太郎・岸野 康成・相良 博典……………313(3)	
クリゾチニブによる薬剤性肺障害が疑われ た1例 高野 友喜・飯田 由子・萩原 エリ 石渡 祐作・吉田 晶子・中川 喜子 清水 哲男・高橋 典明・橋本 修……………404(4)	
<i>Trichosporon asahii</i> の血清抗体が陽性で あった冬期発症加湿器肺の1例 田地 広明・天田 敦子・長南 達也……………524(5)	
EBUS-TBNA で診断された放線菌による 後縦膈膿瘍の1例 山田 智史・矢野 利章・青島洋一郎	

田中 和樹・小笠原 隆・笠松 紀雄……………636(6)	
開心術による心臓再同期療法が有効であっ た心房細動と重度僧帽弁閉鎖不全症を 伴う拡張型心筋症 笠原 勝彦・川崎 暁夫・島田 孝典 伊藤 敦彦・杉下 靖之・田部井史子 山下 尋史……………821(8)	
両下肢浮腫にて発症した、IgG4 関連疾患 の関与が疑われた特発性後腹膜線維症 による両側腸骨静脈狭窄に対し、ステ ント留置による血管内治療を施行した 1例 山浦 一宏・福井 大祐・恒元 秀夫……………829(8)	
収縮性心膜炎を来した IgG4 関連心膜炎の 1例 三木 雄三・西村美沙子・杉谷 新 中濱 賢治・住谷 充弘・少路 誠……………1037(10)	
珪肺の経過観察中に肺高血圧症を伴う抗 U1-RNP 抗体陽性を認めた1例 杉谷 新・中濱 賢治・三木 雄三 住谷 充弘・少路 誠……………1129(11)	

研 究

Cockcroft-Gault 式によるクレアチニンク リアランス(Ccr)の誤算 林 孝和・林 寿美・林 友鴻……………409(4)	
糸球体濾過量(GFR)推算におけるシスタ チンCの有用性 林 孝和・林 寿美・林 友鴻……………930(9)	

書 評

そうだったのか！ 臨床に役立つ心臓の発 生・再生……………福田 恵……………107(1)	
第4回日本肺循環学会・ 第3回日本肺高血圧学会合同学術集会抄録集	
第4回日本肺循環学会・第3回日本肺高血 圧学会合同学術集会抄録集……………S1(5)	